

第3節. 杭州の商圈概要

1. 西安商圈実態

(1) 湖濱商圈

杭州市の一番人気スポットは西湖である。人は西湖に集まることから西湖を基点にして湖濱商圈づくりが行われている。湖濱商圈は、杭州市の中心部にあり、北の鳳起路から、南の解放路まで、東の中山中路から、西の湖濱路までの区域となっている。また、同商圈には44本のバス線路が網の目のように張り巡られ、交通は非常に便利である。人気度が高い観光スポットである西湖と交通の便利さは同商圈の最大メリットである。

その集客力のため「杭州湖濱国際名品街」を始め、「杭州解百」、「元華商場」、「利星ショッピングセンター」などの商業施設が同商圈において出展するようになった。その中、代表的な商業施設は2005年10月に開業した「杭州湖濱国際名品街」である。「杭州湖濱国際名品街」は東坡路、湖濱路、平海路を囲み、総商業面積は約18,000㎡で、30余りの国際トップブランド専門店が入居している。

主に、ファッション、高級車、宝石、腕時計、バッグ、家具、美容及びレストラン等などの店が並んでいる。「湖濱国際名品街」は、商店街、人文景観、レジャー景観の機能を一体に集め、海外トップブランドの集積地だけでなく、更には芸術、文化、レジャー集結の新たな拠点として知られるようになっている。

また、同商圈には商業施設以外にホテルやオフィスビル、レストラン、バー、喫茶店も完備されている。この地域は観光、レジャー、ショッピングなどが一体化し、地元の人だけでなく、国内外の観光客も多く訪れる場所となっている。



(「エルメス」旗艦店)

(2) 武林商圈

武林商圈は杭州における最も繁華な商業地域だけでなく、杭州において成熟した唯一の大型総合商圈でもある。交通の利便性、業態の成熟化及び人気の高さは武林商圈の最大の強みである。圏内の住民だけではなく、西湖との直線距離が2キロ弱という利便性から、大勢の観光客を惹きつけている。同エリアには、百貨店、アパレル専売店、コンビニエンスストア、外食、ホテルなどが主力業態として展開されている。

同商圈は武林広場周辺と武林路という2つの中心エリアからできている。武林広場の周辺には、「杭州大厦」、「銀泰百貨」、「杭州百貨大楼」、「GDA 広場」などの商業施設が集中している。富裕層や中高所得者向けの国際ブランドのみならず、若



杭州劇場の外観

い女性や庶民向けの大衆ブランドも揃い、幅広い客層に対応している。同時に武林路は若い女性向けのファッション街でもある。道の両脇には、女性服装店が軒を連ね、喫茶店や映画館、レストランも完備。周辺の店に並ぶ商品は中低レベルの商品がほとんどである。近年、この地域が観光地になっており、地元客以外にも多くの観光客が訪れる場所となった。

今後、同商圈の武林広場は杭州中心部の交通中枢となる可能性を秘めている。地下には、地下鉄 1 号線、3 号線の乗換駅が建設される予定。地下 1 階と 2 階はショッピングセンター、地下 3 階は駐車場及び地下鉄の乗換駅となる。

(3) 銭江新城商業エリア (CBD 商業エリア)

万象城の側では、来福士広場もすでに着工されている。これは、銭江新城の新たな商業総合体がすでに建設段階に入ったことを意味している。万象城の活況が、銭江新城を支えるに不足であっても、来福士、砂之船 Outlets がすぐに加わり、将来により多くの切り札が追加されることは明らかで、銭江新城商業エリアはすでに“前途有望”となっている。

万象城の第 2 期プロジェクトには、超 5 つ星レベルのパークハイアットホテル、26 万平方メートルのオフィスビル及び世界一流の国際商業街区 MIXC Street が含まれ、総建築面積は 45 万平方メートルになる。香港のインターナショナル・コマース・センター、上海ワールド・ファイナンシャル・センターの設計チーム——KPF が全体のプラン・デザインの重要な役割を演じ、2015 年に完成する予定である。

万象城の第 2 期プロジェクトのうち、ビジネスに関連しているのはこの商業街のみで、面積 2 万平方メートルの建築物は 2 階建てで、一部が 3 階建てとなっている。まだテナント企業誘致の段階に入っていないため、具体的にどんなブランドが入居するか確定していないが、万象城サイドは、「多くの国際ブランドのフラッグシップ店となる予定で、第 1 期と相互補完する形になる」ことを明らかにしていく。



(万象城の外観)

2. 杭州市概要

杭州は、浙江省の省都で、省の政治経済、文化の中心地である。上海市に次いで華東地域を代表する大都市であり、中国国内でも高い生活水準を誇る地域である。また、自然環境に恵まれ、昔から「天に天国あり、地に杭州・蘇州あり」と言われており、特に西湖が有名で、世界的にも名高く、国内外から多くの観光客が訪れる。現在、杭州市は日本の岐阜、埼玉、福井、京都などの都市と姉妹都市契約を結んでいる。

2008 年に、中国市長協会が発表した都市の総合的な実力に関するランキング調査において、「幸福感がある都市」では杭州が 5 年連続して上位に入り、かつ第 1 位に選ばれた。

(1) 歴史

杭州市は、2000 年以上の歴史をもつ都市であり、杭州としての呼び名は唐代に始まった。南宋の時代にその首都臨安が置かれていたことでも知られている。12 世紀後半にはモンゴル帝国による陸と海を結びつけた交易を通して、さらに発展した。その繁栄ぶりは、13 世紀の旅行家マルコ・ポーロが『東方見聞録』において「世界で最も美しく華やかな街」と絶賛されている。そして 1927 年に杭州市が、1949 年には杭州市人民政府が成立した。

(2) 地理

杭州市は浙江省北部の杭州湾にある銭塘江の河口に位置し、長江デルタ地域の中心都市を担い、上海市から南西へ約 160km 離れた場所に位置している。西北部と西南部は主に丘陵地帯で、市面積の約 66% を占める。東北部と東南部には河川が集中している。そのため「魚米の故郷」とも呼ばれている。

(3) 気候

杭州の気候は亜熱帯に属し、温暖湿潤で、四季がはっきりしている。日照時間は長く、雨量が多い。年間平均気温は約 16.2℃、夏期の平均気温は 28.6℃、冬期は 3.8℃である。

(4) 区、人口、面積

杭州市は 8 つの区(上城、下城、拱墅、西湖、江干、濱江、蕭山、余杭)、2 つの県(桐廬、淳安)、3 つの県級市(富陽、臨安、建徳)より構成されている。

2007 年、杭州の人口数は 672.35 万人であり、土地面積は、16,596 平方キロメートルである。

(5) 交通

① 飛行機

杭州蕭山国際空港は蕭山地区の河川、銭塘江の南岸、杭州市の中心部から 27 キロメートル離れた場所に位置し、紹興まで 29 キロメートル、富陽まで 50 キロメートル、臨安まで 66 キロメートル、建徳まで 135 キロメートル、上海まで 149 キロメートルの距離である。現状、航空会社 38 社が運行しており、週発着便数が約 2,400 便である。160 本の路線を展開し、国内外の 58 都市と地区をカバーしている。杭州から日本への直行便では、東京(成田空港)へは日本航空(JAL)と全日空(ANA)が、大阪(関西空港)へは全日空とアモイ航空が就航している。

② 鉄道

杭州は杭州火車站(城站)と杭州火車東站の 2 つ駅がある。

③ 地下鉄

杭州市政府は総投資額 349 億 3,600 万元、全長 68.79 キロメートルの杭州地下鉄の第一期工事を 2007 年 3 月 28 日から開始している。2011 年末には完成、開通する予定。

国務院が許可した杭州都市快速軌道交通建設計画によると、杭州市の軌道交通ネットワークシステムは合計 8 路線からなり、総延長 278 キロメートル、総投資額は 1,000 億元にのぼる見通しである。

④高速道路

上海と杭州市を結ぶ高速道路として、滬杭高速道路があるが、2008 年 1 月 29 日に新たに 2 本目の高速道路が開通した。

新しい道路は、A4(莘奉金高速道路)と上海市と浙江省の境まで伸びてきた杭浦高速道路を結び、杭州側では杭州の都市高速道路北側の大井で交わる。杭浦高速道路は全長 112 キロで、2008 年 6 月開通したの寧波へ抜ける杭州湾大橋もこの高速道路につながることになる。途中、余杭・海寧・海塩・平湖などを経由する。